

【注意】「転移性腫瘍と診断された腫瘍」と「病理組織学的検査にて再発と診断された腫瘍」は、下記の多重がんルールを適用しない。  
 詳細は、「固形腫瘍における多重がんルール適用対象判定資料」を参照のこと (<https://ctr-info.ncc.go.jp/text/>)。

<皮膚黒色腫>

C440-C449 かつ 組織型コード8720-8780 (皮膚以外の悪性黒色腫を除く)

腫瘍数	ルール	項目内容	決定	備考
不明	M1	単一腫瘍か複数腫瘍かが不明	⇒ はい	単発 注:すべての情報を使用しても不明な場合に適用
	↓いいえ			
単一	M2	単一腫瘍	⇒ はい	単発
	↓いいえ			
複数	M3	ICD-O局在コード2~4桁目 (CXXX) が一致しない	⇒ はい	多重
	↓いいえ			
	M4	左右の側性が異なる	⇒ はい	多重 注: 正中は左右とは側性が異なると判定する 《例》胸部正中と右胸部 → 多重 《例》右胸部と左胸部 → 多重
	↓いいえ			
	M5	ICDD-O形態コード上位3桁が一致しない	⇒ はい	多重
	↓いいえ			
	M6	上皮内癌診断後60日を越えた後に浸潤癌が診断された	⇒ はい	多重 注1: 本ルールの目的は、浸潤癌が罹患数からもれないよう設定した。 注2: 医師の診療録で「再発」、「増悪」とされても、多重として登録する
	↓いいえ			
M7	複数腫瘍が60日を越えた間隔で診断された	⇒ はい	多重	
↓いいえ				
M8	M1~M7の条件に合致せず	⇒ はい	単発 注1: 上皮内癌診断から60日以内に診断された浸潤癌は単発と判断する (両者が同時に診断された場合も含む)。これらは、同じ腫瘍の多発病変と考え、以下のように登録する。 ・診断日は最も早い診断日である上皮内癌の診断日を登録する ・局在、組織型、病期、進展度は、より進展している浸潤癌の情報を優先して登録する (病期分類は上皮内癌の診断日時点で採用していた分類を用いる) ・初回治療情報は、各病変に対して行われた治療をすべて登録する 注2: 同一部位で同一組織型の複数腫瘍は単発として扱う。 《例1》左背部(C44.5)の孤立性黒色腫と左胸部(C44.5)の孤立性黒色腫を有する場合、単発として扱う。 《例2》右大腿部(C44.7)の孤立性黒色腫と右足首(C44.7)の孤立性黒色腫を有する場合、単発として扱う。	